

NEWS RELEASE

『クラウドロガーLTE』が国土交通省の「NETIS」に登録

～計測データを自動収集し警戒値超過時に即時アラート発報、

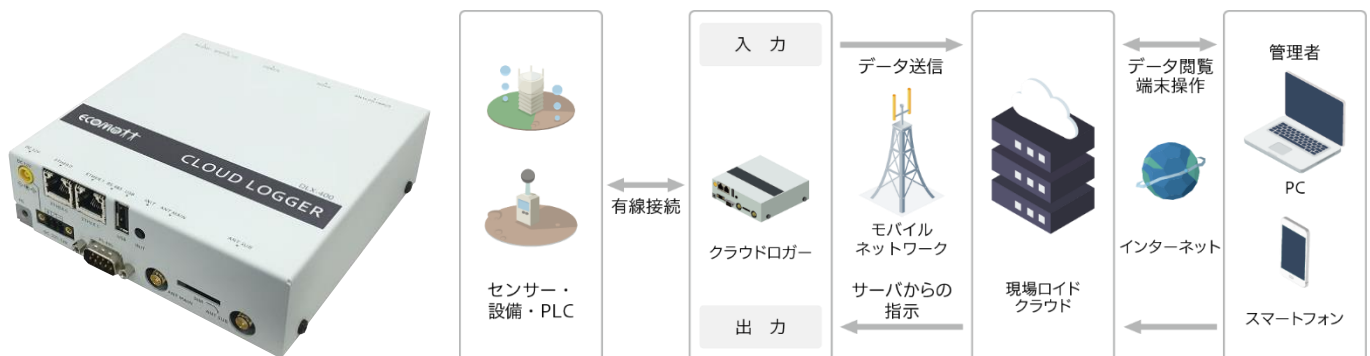
建設現場の安全性向上に貢献～

エコモット株式会社(本社：北海道札幌市、代表取締役：入澤 拓也、以下「エコモット」)は、計測データを自動収集し遠隔地からの確認や、警戒値超過時のアラート発報を可能とする「クラウドロガーLTE」を、国土交通省新技術情報提供システム「NETIS」に登録申請し、このたび国土交通省関東地方整備局により登録されましたのでお知らせいたします。

NETIS 番号：KT-220145-A

技術名称：クラウド型データ収集ソリューション「CLOUD LOGGER」

<製品外観・システム概要図>



■背景

リリース以降、既に多くのお客様にご利用頂いている『クラウドロガーLTE』は、遠隔パトランプを作動させる際の警戒値超過判定を、現地のロガー内部で処理する「エッジコンピューティング」の高い応答性や、収集した計測データを用いてクラウドサーバ上でリアルタイム演算を行う機能など、各種機能の新規性が認められ、2022年11月2日に国土交通省関東地方整備局より「NETIS」に登録され、建設現場の安全性向上や省力化に貢献する技術として認められました。

■『クラウドロガーLTE』概要

クラウドロガーLTEは、無電圧接点出力やアナログ出力を持つ計測機器を接続することで、騒音や振動、水位、風速、雨量などあらゆる計測データをLTE回線により専用のクラウドサーバに送信し、パソコンやスマートフォン等で、離れた場所から自動収集された計測データをいつでも確認可能となるシステムです。

専用の WEB 管理画面からは簡単に警戒値を設定することができるため、警戒値を超えた際のメール発報や、パトランプの自動制御を通じて作業員に通知を行うことができます。さらに端末にメータリレーを内蔵することで、ロガー内部で警戒値超過判定が可能となり、サーバへの計測データ送信周期に関わらず、即時のパトランプ動作や、より速やかなメール通知が可能です。

■エコモット株式会社について

エコモットは 2007 年の創業以来 IoT 専門のソリューションベンダーとして、センサー・自社開発通信デバイスの提供を行うとともに、多様な顧客ニーズに応じたカスタマイズ、現場での設置ノウハウを提供し、あらゆる「モノ・コト」からセンシングを可能にするソリューションを提供しています。2017 年 6 月に札幌証券取引所アンビシャス市場、2018 年 6 月に東京証券取引所マザーズへ上場。2019 年 1 月に KDDI 株式会社と資本業務提携いたしました。

所在地 : 〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東1丁目2番5号 カレスサップロビル 7階

代表 : 代表取締役 入澤 拓也

設立 : 2007年2月

資本金 : 6億1,532万円 (2022年8月末現在)

事業内容 : IoTソリューションの企画、およびこれに付随する端末製造
通信インフラ、アプリケーション開発、並びにクラウドサービスの
運用・保守に関する業務のワンストップでの提供

URL : <https://www.ecomott.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

エコモット株式会社 コンストラクションソリューション企画部 吉村・大塚

TEL : 011-558-6601 MAIL : info@gembaroid.jp